

平成21年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
事後評価結果

研究課題名	光フーリエ変換を用いた新しい超高速無歪み光伝送技術の確立	研究代表者名 (所属・職)	中沢 正隆(東北大学・電気通信研究所・教授)
-------	------------------------------	------------------	------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
○	A+	期待以上の研究の進展があった
	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題では、光フーリエ変換を用いることにより、従来の工学系に大幅な変更を加えることなく、様々な現象に起因する光伝送の線形波形歪みを一つの機構で除去するという独創的なアイデアについて、実用化に向けた技術開発を行い、要素技術、実証実験の各項目について、設定した目標以上の成果を得ている。

また、パラボラ光パルスを用いた全光フーリエ変換など、通信技術分野を超え、より一般の光情報処理を加速する先進的な課題へのチャレンジなど、特別推進研究に相応しい成果を多くあげ、本グループの先導性を揺るぎないものとした。

以上のように、本研究課題は目的を十分達成しており、期待以上の研究の進展があったと高く評価できる。